

葉栗連区 地域づくり協議会だより

令和6年7月(93号)



葉栗 HP

発行日：令和6年7月1日 発行者：葉栗連区地域づくり協議会
一宮市大毛字南出120番地（葉栗出張所内） 電話：28-9001
ホームページ：<https://138haguri.org>（スマホからは上記 QR コードより）

葉栗連区の人口と世帯数 <2024.6.1 現在> 人口 16,114 人（男 7,877 人 女 8,237 人）世帯数 6,915 世帯

☆ 木曽川堤（サクラ）を守り続けよう ☆

6月8日(土)に名勝および天然記念物「木曽川堤(サクラ)」の保全活動を行いました。活動は光明寺サクラを守る会(旧称：光明寺緑地保全会)の主催で、葉栗連区地域づくり協議会と葉栗連区町会長会および葉栗連区公民館の共催でした。

「木曽川堤(サクラ)」は、1885年(明治18年)に、一宮市北方町から江南市草井まで約9キロの間に1,800本の桜が植樹されたと言われていいます。

今年の2月、老齢化し倒木の危険性のある桜65本が伐採され、一宮市地区内の現存本数は559本と減少しており、樹の保全が急務の課題になっています。

葉栗連区の保全活動は、毎年2回(1月と6月)に肥料の埋め込みや、樹に絡まった葛のツルの除去などを行っています。

この桜は2027年(令和9年)8月11日に名勝および天然記念物の指定を受けて100周年を迎えることから、当連区としても更に機運を高め、浅井連区、北方連区とも協調して現存する桜の保全活動を行っていきたく考えています。いつまでも元気に咲き誇る木曽川堤(サクラ)を守るため、皆さまのご理解とご支援ご協力をお願いいたします。



今年も元気に咲きました。R6年4月撮影



☆ 光明寺サクラを守る会 会長就任あいさつ ☆ 大山 博氏

光明寺サクラを守る会会長を務めることになりました杉山町内の大山博です。

今までありました光明寺緑地保全会の名称及び規約を改正し、地域の宝である木曽川堤(サクラ)の減少に危機感を感じ、より一層きめ細かい保守保全対策を実施することを目指します。

2027年8月には、名勝及び天然記念物に指定されて100年を迎えるにあたり、次世代により多くの桜を残せるかが今後の課題になります。

毎年実施している桜の保全活動についても、連区内の多くの方に参加していただける体制を考えております。毎年元気な桜が鑑賞できるように、今後ともご支援ご協力をよろしくをお願いいたします。

